

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん



2022年度 年主題〈つながって～今、わたしを生きる～〉

0・1・2歳児 3月主題 「おおきくなった」
 月のねがい
 ◎どんな時も神さまと一緒にいることを感じる
 ◎心も身体も満たされて過ごす
 ◎戸外に出て春の訪れを感じる
 ◎友だちとの関わりを深め安心して過ごしながら大きいクラスになるのを楽しみに待つ
 ◎季節の変化を感じ、春を見つける

3・4・5歳児 3月主題 「信じて進む」
 月のねがい
 ◎いつもイエスさまが共にいてくださることを信じて新しい生活に希望をもつ
 ◎互いにありのままの姿を出し合い、受けとめ合いながら心ゆくまで遊ぶ
 ◎球根の芽や花の匂い、あたたかな日差しなど、春の訪れを感じ喜ぶ
 ◎神さま・イエスさまがいつでもどこでも一緒にいてくださるという安心をもつ
 ◎自分の思いが生かされることと、友だちとの交わりに満たされることが、喜びとなって、次の年度へと歩み出していく



みんな大きくなったね!

3学期が始まったかと思うと、あっという間に3月!そして2月のおゆうぎ会が終わって、ゆっくりできる～と思っていたのもつかの間、もう卒業式が目前です。

先日、朝の自由遊びの時間のことです。くじらグループの友だちが、めぐみ組の中で一番小さな友だちの靴を見て「小っちゃ!!これ誰の靴?」と聞いてきたので「〇〇ちゃんの靴だよ。〇〇君もめぐみ組の時にはこんな小さい靴履いてたんだよ」と伝えると「え～!」と照れ笑いしながら自分の靴を横に並べて比べっこ。また別の日には、両手を使ってバランスをとりながら歩く0歳児の真似をして一緒に両手を揺らしながら歩いていたので「〇〇君と〇〇君もこんな風に歩いていたんだよ～」と伝えるとまたまた照れ笑い(笑)

自分の成長を自分で感じるひと時に、子どもも保育者も温かい気分になります。2月から始まったお散歩timeも雨でなかなか行けない日が続いている所ですが、小さい友だちの手を握ることで、またそれぞれに手の大きさを感じたり、歩幅の違いを感じているようです。散歩の中にも、自分の成長を共に喜んでいきたいと思います。

入学・進級をそれぞれに楽しみにしている子どもたちですが、心の中では「大きくなりたいけど、まだ〇〇組がいいな」といろいろな気持ちと戦っているのではないかと思います。そんな子どもたちの今の気持ちを受け入れ、寄り添いながら、入学・進級への心の準備のお手伝いができるといいなと願っています。今年度も残り1ヶ月、子どもたちとたくさん楽しい、嬉しいを見つけて、笑って過ごしていきたいです。

父母会より園へ記念品もいただき、「みんなが1年間頑張ったからお父さん、お母さんからみんなで遊んでねって園にプレゼントもらったよ」と紹介すると、目をキラキラさせて見入っていました。「頑張った人～!」と聞くと全員で元気「は～い!」とこえってきます。この時期、進級のことについて声を掛けることが多くなりそうですが、1年の頑張りもたくさん褒めてあげたいですね。 主任 伊豆元



今月の聖句「いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら3つです。」

I コリ13:13

MISIAさんの「アイノカタチ」(作詞・作曲GreenN)は有名ですが、もう一つの「愛のカタチ」という歌をご存知でしょうか。この歌は認知症になってしまった祖母のことを孫である中村つよしさんが歌ったものです。「誰も知らない泣ける歌」というTV番組でも紹介されたことがあります。アルツハイマーになり、様々な記憶をなくした祖母だけれども、最後まで夫のことを忘れなかったことに心を動かされ、この歌が生まれました。

「夏の夕暮れ裏通りへとあなたが散歩に出かけたなら、あたしは庭の錆びたベンチであなたの帰りを待つでしょう。」中村さんの祖母は記憶をどんどん失いましたが、それでも春も夏も、旦那さんのことをまっすぐに思い、その帰りを待っているような方でした。

さらに歌詞は続きます。「愛なんてあたしには似合わないけれど、一人で居る時にあなたを思う事が愛ならば、これは愛です。」「愛」は目には見えない。だからこそ「愛ってなに?」と疑問に思うこともあります。歌の主人公のように、時には「愛なんて似合わない」と思うこともある。そんな方でも、この歌詞はしっくりくるはず。自分の時間に相手とふとふとふと、これは愛がなければありえないことです。私はこの歌を初めて聞いた時、心が震えました。

これは人間が神に似せて造られているからこそ持っている、人間らしい一面です。「いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら3つです。その中で一番すぐれているのは愛です。」そう聖書が語る通りです。



退職のお知らせ

久留志織 保育教諭が3月末日をもって退職いたします。皆様にはこれまで大変お世話になりました。今までのご支援に心より感謝申し上げます。

3月の行事予定

2日(木)	弁当日
4日(土)	第65回卒業園式 父母の会総会
7日(火)	誕生会(2才以上3月生)
10日(金)	年長児修了日
17日(金)	修了式(1号午前保育)
18日(土)	ひかり参観・進級準備説明会
30・31日	休日(新年度準備の為)

4月の行事予定

1日(土)	第66回入園式・クラス会
10日(月)	始園式(1号午前保育)
10日～14日	1号新入園児慣らし保育
15日(土)	親子遠足・弁当日
27日(木)	誕生会(2才以上4月生)
予定	田植え・交通安全教室

旅立ちの春

三寒四温を経て、一雨ごとに暖かみを増してきました。余寒も過ぎ、弥生三月を迎えます。弥(いよいよ)ます(ます)生(生)い(い)る(る)とは、文字通り草木が芽吹く季節。一年の仕上げのとき、喜びと寂しさのときでもあります。

このころ炎上している「世間を騒がす迷惑行為」が跡を立ちませんね。何故、彼らは道徳や社会規範、論理というものを無視する行動をするのでしょうか。健全な形で承認欲求を満たせていない行動に見える。ある精神科医は、「彼らは幼少の頃から他者と比べられ、他者との比較でしか自分を肯定する脳を身につけることが出来なまま大人になってしまった。自制心も培われていないので、犯罪への衝動が止められず、犯罪に及んでしまった。」と言います。健全な承認欲求は他人からの評価で満たすものではなく、自分自身で満たすものではないでしょう。SNSが無かった時代は、他者による承認欲求を満たす場所がなかったため、行動化することが出来ませんでした。ところが今は、簡単に繋がる場所があるため行動化できてしまっています。自制心も未熟だと犯罪行為への衝動の制御も出来なものです。しっかりと取捨選択のできる力を育みたいものです。

乳幼児期は、「生涯にわたる人格形成の基礎が培われる」重要な時期であることと教育保育要領に示されています。意図された適切な環境の中で、あそびを中心とした活動を十分に経て、小学校以降の学習の場に入っていくことが大切です。時間を忘れて何かに熱中できることは学ぶ力の根っこだと思います。そして、簡単に諦めないで何度もチャレンジする根気が、学びの力を強めていくのではないのでしょうか。SI教育の白濱先生は、生き生きとした知力を育むには、次の五つの力が大事であると言われました。①自分からやる気になる②面倒くさいことを面倒くさがる③自分の集中力が高い④自分の意思や考えを主張できる⑤目的を持って取り組む。どれも非認知能力と呼ばれる目に見えない力の結集ですね。これらの能力を基に、夢に向かって自分を肯定的に捉えられる子どもに育てて欲しいと思います。物事を真面目に捉えられる誠実さの基盤は、様々な体験と他者との交わりの中で培われます。これから益々いろいろなことに挑戦し、主体的な探究心を育んで欲しいものです。子どもたちが忍耐強く、温かく見つけ養い育てていくことは、希望に胸を膨らませて春を待つ気持ちに通じます。多様化する時代にあっても、一番大切なものは、いつも目に見えないのだというのを忘れずにいてほしいです。金子みすゞの詩にあるように、昼の星やたんばの根のごとく、見えないけれど確かに在る神さまの大きな愛と人々の愛に満たされ、心優しいひかりの子として歩むことが出来ますように祈っております。この一年間、保護者の方々には色々な面でご支援ご協力を戴き、誠にありがとうございました。多くの足らざるところをお詫びし、心より感謝申し上げます。

入学を喜び楽しんで迎えるために

市教育委員会主催で年3回の「学力向上推進委員会」があります。市内の小学校長先生方、幼稚園・保育園・こども園の園長先生方が集まり、幼児・児童の育ちや学びについて熱心に語り合います。

今年度は、幼児期の生活習慣を調査し実態を把握するという事で、年長児を対象に2回ほど生活リズムチェック表を配布させていただきました。ご協力ありがとうございました。ありのままに記録を提出していただきましたので、子どもたちの家庭での生活も伺い知ることができました。睡眠・食事・遊び・親子の触れ合いなど、生活を整えていくことの大切さを感じ、保護者の方々と一緒に考えていきたいと思っております。以下は小学校前に身に付けたい大切な生活習慣としてあげておりますが、幼児期の生活を考える上でも大切にしたいことですので、皆さんと共有したいと思います。

《小学校入学前に身に付けたい大切な7つの生活習慣》

- ①交通ルールを守り通学路を歩く
自宅から学校までのルートを親子で何回か歩き、危険なところがないかの確認しておくことが大事ですね。
- ②とっさの緊急対応ができる
最近では防犯ブザーをランドセル等に付け緊急時に使えるようになっているようですが、ひもを引いてブザーを鳴らせること、緊急時に親の緊急連絡先を言えるようにしておく等の練習をしておくことも大切です。
- ③和式トイレを伝える

家庭では洋式トイレが一般的になってきていますが小学校では約8割が和式トイレのようです。和式トイレで実践練習をしておくことも大事になってくるようです。

- ④着替えをスムーズにおこなう
体育の授業の前に体操服に着替えたり、脱いだ服をたたんで片付けたりが一人で出来るようにしましょう。
- ⑤あいさつや返事が自然に出来る
小学校に入学して友人関係を円滑にしていけるためにも大切になってきます。
- ⑥人の話を落ち着いて聞く
先生の指示や授業を聴けるように、人の話を落ち着いて聴く習慣も付けておきたいものです。友だち同士でも、自分ばかりが一方向的に話すのではなく、相手の話もきちんと聞き、その上で自分の考えを主張することで、友人関係は良好に築かれていくものです。
- ⑦適切な我慢をすることができる
小学生になると、自分で判断し、行動しなければならぬことが増えます。その中で校則や社会のルールを守っていかなくてはなりません。それらは必ず我慢する力が必要になってきます。順番を待つことや、授業中は着席して先生の話を聴く、宿題はちゃんと提出するなど、何らかの我慢を要していきます。我慢ばかりは意欲の低下に繋がりますので、自己主張と自己抑制のバランスを考えながら我慢する力を身に付けていくことが大切です。

園長 園師 愛